

News Release

2024年7月吉日
 国立大学法人 一橋大学
 社会科学高等研究院
 医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

一橋大学では、「HIAS Health 医療経済短期集中コース」の受講申込みの受付を2024年6月17日(月)より、開始しております。

「HIAS Health 医療経済短期集中コース」は、医療経済分析の手法を基礎から実践的に学ぶ、社会人の方を対象とした2週間(週末の4日間)の短期集中コースです。第7回目となる2024年度は、11月22日(金)から12月1日(日)に開講いたします。

本コースは、医療・介護の現場の専門職、医療・社会保障政策を立案する自治体職員、民間企業の方を対象に、Evidence-based Policy Making (EBPM-根拠に基づく政策立案)の考え方や科学的な手法による根拠の求め方を、演習を交えて基礎から学び、理解していただくことを目的として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター (HIAS Health) が実施するものです。今年度は、医療・介護情報の連携、データと地域医療構想など、実践現場での情報とデータの活用について対話するセッションを設けました。また、一橋大学150周年記念シンポジウムとも連携し、保健・医療政策の優先課題について国内外の幅広いステークホルダーと話し合う機会を企画しております。参加者の方々と積極的に議論させて頂ければと存じます。

コースの概要

期間	2024年11月23日(土)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日) 11月22日(金)15時から、希望者を対象に「コースで使われる統計学の基本」の講義を行います。
会場	オンライン開催(ただし、11月23日(土)のみハイブリッド開催を予定しています。)
受講料	12万円/人(全日程参加、一般価格) ※このほか参加日数等に応じて価格を設定しております。詳しくはウェブサイトをご参照ください。
申込方法	Web 申込み https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/
受付期間	6月17日(月)から8月30日(金)まで
定員	25名程度。受講申込書に基づいて書類選考が行われます。



コースの特徴

データから日本の医療を考えるための手法を実践的に学びます。HIAS Health における最新の研究成果に触れることができます。医療経済分析における実践的な統計手法について、講義と統計ソフトを用いた演習を通じて学びます。講義や講演などの座学と、演習やグループワークを組み合わせたアクティブ・ラーニングを導入し、講義内容のより深い理解を促します。医療従事者、地方自治体職員、民間企業社員と、受講者は多様です。4日間のコースを通じて、経歴や立場の異なる受講者間の交流・関係構築が促進されます。

コース開設の背景

「人生100年時代」の到来や医療の高度・高額化に伴い、日本の国民医療費は年間45兆円を超え、財政リスクが課題となっています。医療・介護サービスの質と、ニーズにもとづいたアクセスを確保しつつ、制度を「持続可能」にするには、限られた資源(予算)の効率的な活用を考えなければなりません。このため政策決定に、社会科学の知見を含む EBPM(根拠に基づく政策立案)を取り入れることが求められています。医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMについて考えを深め、日々の業務でデータや情報を活用できる環境を構築することが、これまでに増して重要となっています。

お問合せ先

国立大学法人 一橋大学
 社会科学高等研究院
 医療政策・経済研究センター (HIAS Health)
 住所 〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地
 E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp
 HP <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

一橋大学 HiAS Health 社会連携プログラム 第7回医療経済短期集中コース（2024年）



一橋大学 HiAS Health 社会連携プログラム 第7回医療経済短期集中コース（2024年）

時間割り

11月	22日	(金)	15:00—18:30	<p>コースで使われる統計学の基本（希望者のみ） ※追加料金はありません。</p> <p>※ 表計算ソフトを用いた実技も行います。</p> <p>講師：中村良太 一橋大学社会科学高等研究院教授/HiAS Health 研究員</p>
11月	23日	(土)	9:00—9:30	オリエンテーション
			9:30—11:10	<p>テーマ1：医療保健政策の政策評価</p> <p>講師：中村良太 一橋大学社会科学高等研究院教授/HiAS Health 研究員</p>
			11:10—11:20	休憩
			11:20—12:10	<p>実践現場からの報告1：超高齢社会に対応する中小病院の再生</p> <p>—コミュニティ&コミュニティホスピタルへの転換—</p> <p>講師：大石佳能子 株式会社メディアヴァ代表取締役社長</p>
			12:10—13:40	昼食
			13:40—15:10	<p>時事報告：介護情報の連携と利活用</p> <p>講師：福田亮介 厚生労働省老健局老人保健課介護保険データ分析室長</p>
			15:30—18:00	特別シンポジウム
			18:00—19:30	受講生の交流会
11月	24日	(日)	9:30—11:10	<p>テーマ2：費用対効果分析</p> <p>講師：五十嵐中 東京大学大学院薬学系研究科特任准教授/HiAS Health 客員研究員</p>
			11:10—11:20	休憩
			11:20—12:10	<p>実践現場からの報告2：東京都地域医療構想の実現に向けて</p> <p>講師：立澤文敏 東京都保健医療局医療政策部計画推進担当課長</p>
			12:10—13:30	昼食
			13:30—15:10	<p>テーマ3：医療機関の管理会計（バランスト・スコアカード）</p> <p>講師：荒井耕 一橋大学大学院経営管理研究科教授/HiAS Health 研究員</p>
			15:10—15:20	休憩
			15:20—17:00	<p>テーマ4：データでみる地域医療構想</p> <p>講師：高久玲音 一橋大学大学院経済学研究科教授/HiAS Health 研究員</p>
			17:00—17:10	休憩
			17:10—17:40	グループワーク準備（受講生のみ）
11月	30日	(土)	9:30—10:30	テーマ1（演習）
			10:30—10:40	休憩
			10:40—11:40	テーマ2（演習）
			11:40—12:40	昼食
			12:40—13:40	テーマ3（演習）
			13:40—13:50	休憩
			13:50—17:00	グループワーク
12月	1日	(日)	9:30—11:30	グループワーク 報告
			11:30—12:30	昼食
			12:30—14:30	グループワーク 報告
			14:30—14:40	全体写真 撮影
			14:40—16:10	パネルディスカッション
			16:10—16:20	休憩
			16:20—16:40	修了式

受講申込方法等概要

期間	2024年11月22日（金）、23日（土）、24日（日）、30日（土）、12月1日（日）
会場	オンライン開催（但し、状況に応じて対面開催も検討します。）
定員	25名程度（最少催行人数に満たない場合は、コースの開催を中止することがございますので、あらかじめご了承ください。）
受講料	12万円/人（全日程参加・一般価格） <p>※ 地方自治体職員（病院勤務者を除く）および大学院生（社会人学生を除く）の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円/人といった ※ 過去に本コースを受講された方は、テーマ4および実践現場からの報告を、4万円/人で聴講いただけます。 ※ 第一週目（11月22日、23日、24日）のみご参加の方の受講料については、9万円/人といたします。</p>
受講申込期間	2024年6月17日（月）～8月30日（金）
受講申込方法	Web申込となります。下記のページから受講申込みフォームへお進みください。 https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/ 受講申込書に基づいて書類選考を行います。選考結果は9月6日（金）までに、受講申込者全員にお知らせします。
受講料の支払	書類選考の合格者には、後日、請求書を発行いたします。10月4日（金）までに入金をお願いいたします。 主催者都合によりコースの開催を中止した場合を除き、受講料の返金はいいたしません。予めご了承ください。
実施者	本短期集中コースは、一般社団法人一橋大学知識共創機構からの受託事業として、一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター（HiAS Health）が実施するものです。

第6回医療経済短期集中コース

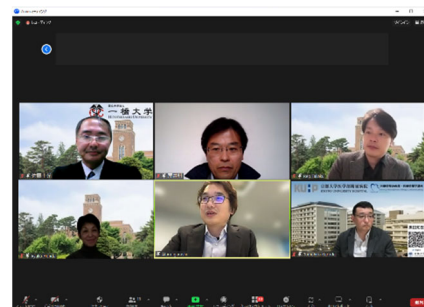
第6回目となった2023年度の「医療経済短期集中コース」は、2023年11月17日(金)、18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)の日程で行われました。昨年に引き続き、初日のみ対面開催としたHybrid形式で開催し、自治体、医療関係者、コンサルタント及び製薬企業など多様な分野から11名の受講生にご参加いただきました。



(1日目の対面講義)



(受講生によるグループワーク報告)



(パネルディスカッション)

医療経済短期集中コース 受講生の声

受講者へのアンケートでは、85%以上の方から「本コースを誰かに薦めたい」とご回答いただきました。以下、受講生アンケートのご意見から(原文のまま引用)。

- 医療機関における管理会計は、公益性が高いため馴染まない・難しいものと思っておりましたが、営利企業さながらに取組まれ、その全体像や課題等を学ぶことができ、大変参考になりました。
- 医療計画の中で、コロナ禍での医療体制において、どの点がシステム上の短所であったのか、データを見る事で、非常に理解しやすく、かつ今までの認識の違いがわかり、大変有用であった。データ分析により、ものの理解への重要性が理解出来たものとする。
- 費用対効果について、はじめて体系的に学ばせていただいたので大変参考になりました。可視化する意義やみんなが納得する解を導くための手段、またその結果が全てではない事など、とても腹落ちしました。そのためにも有効なデータ収集が今後重要になってくるなど、初心者でも分かり易い説明をありがとうございました。
- 医療現場で働き、日頃から費用対効果は診療報酬で馴染んでいる状況ですが、改めて聞き、考える事で「医療の価値」や「公平性」が考えさせられた。国民皆保険の意味による認識が少しずつ、人により違いがあるのは、「生きる」事への意味や認識の違いであり、質的評価の難しさを感じます。この中で今回講義受講は大変有用であったと感じます。経済という切り口で新しい知見を得られたことは有用であったと考えます。
- いろいろな目的があり、混在する中で政策がこうじられている事に理解が深まった。人々の動機意識やその意味理解から政策が構築されている。生活の中で、習慣化されて行動が多い中で、一般的に理解することで、医療治療にも参考になります。どう健康について、行動させ、支援するのかを考える参考になりました。ありがとうございました。
- インプットのための研修ではなく、学んだことをアウトプットできる場があるとより学びが深まると実感できました。グループワークの時間もバックグラウンドが異なるメンバーとの意見交換は、発想・思考も異なることがあり、気づきも多くとても有意義でした。

一橋大学社会科学高等研究院

一橋大学では、日本および世界の喫緊の社会的な重要課題に対して、学際的かつ集中的に取り組む国際共同研究のハブ(拠点)として、2014年に、学長直轄の研究組織「一橋大学社会科学高等研究院」を設置しました。英語名「Hitotsubashi Institute for Advanced Study」の頭文字からHIAS(ハイアスと発音します。)を略称としています。さらに、質の高い社会科学研究によって社会的な重要課題の一つである、医療・介護・社会保障を取り巻く問題の解決に貢献することを目的に、2016年2月にHIASのもとに「医療政策・経済研究センター(HIAS Health)」を設置して研究を進めています。